

参考資料：

オルガノン株式会社

「働く女性の健康課題および企業の支援制度に関する調査」

【調査概要】

■ 調査目的

- ✓ 従業員 1,000 名以上の企業（大企業）で働く男女を対象に、女性特有の症状（月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期障害、等）への理解度、そうした症状が仕事に与える影響、女性が行っている健康管理や働き方の工夫を調査する
- ✓ 大企業における女性特有の症状（同上）に対する支援・サポート体制の有無や種類、そうした支援・サポート体制の周知状況を明らかにする

■ 調査地域：全国

■ 調査手法：インターネット調査

■ サンプル数：516 名（男性：258 名、女性：258 名）

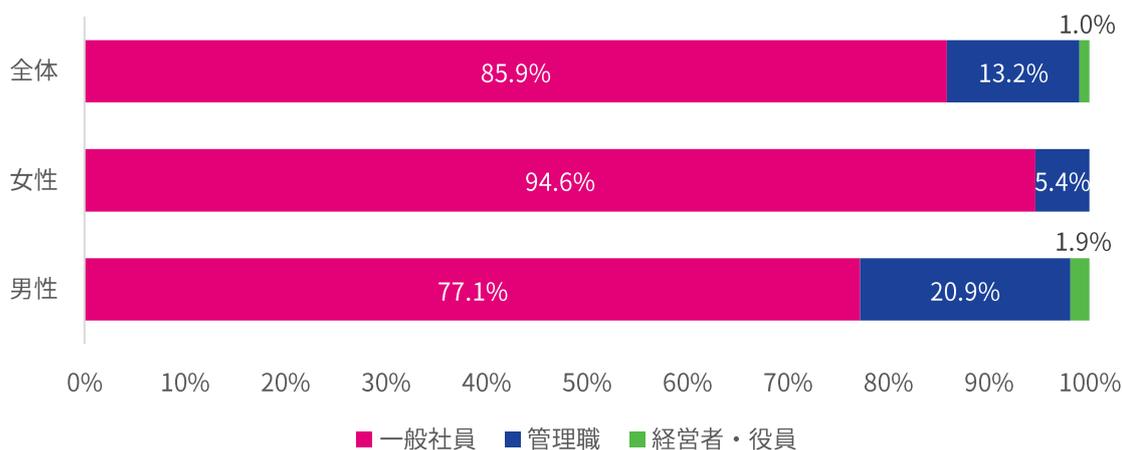
■ 調査期間：2023 年 2 月 8 日～10 日

■ 実施主体：株式会社マクロミル ケアネット

【結果詳細】

■ 回答者役職

[Q1]以下のうち、あなたの勤務先における役職についてあてはまるものをお知らせください。

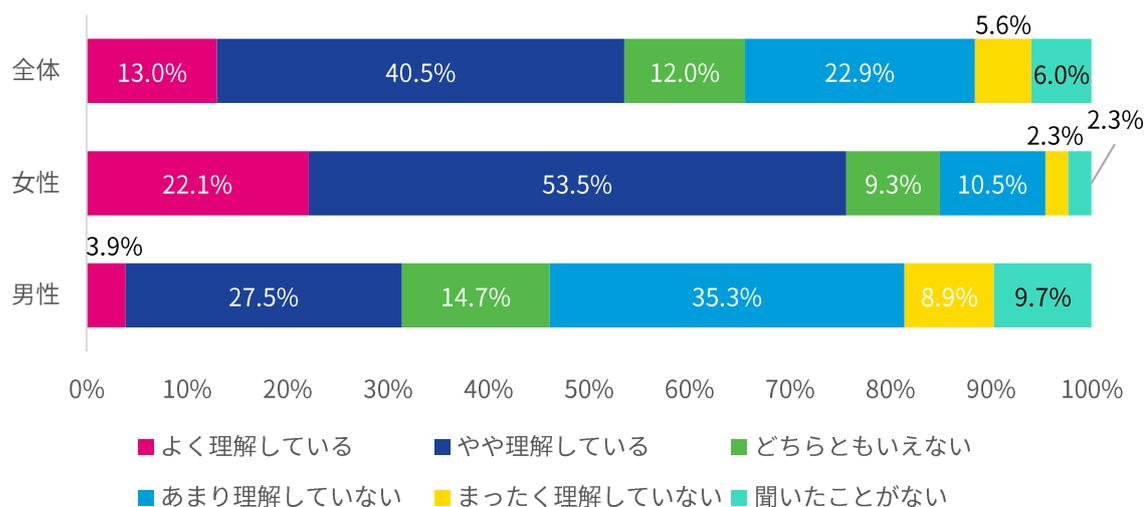


回答対象

- ・ 全体：調査に参加した男女 n=516
- ・ 女性：調査に参加した女性 n=258
- ・ 男性：調査に参加した男性 n=258

女性特有の症状への理解

[Q2]あなたは、月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状といった、女性特有の症状について、どの程度知っていますか。

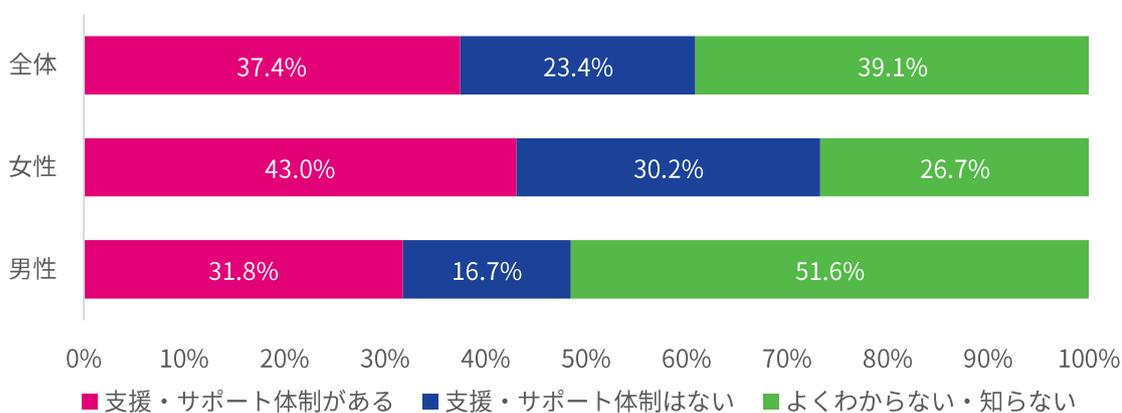


回答対象

- ・全体：調査に参加した男女 n=516
- ・女性：調査に参加した女性 n=258
- ・男性：調査に参加した男性 n=258

■ 女性特有の症状に対する支援・サポート体制の有無

[Q3]あなたの勤務先では、女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)に対する、支援・サポート体制がありますか。

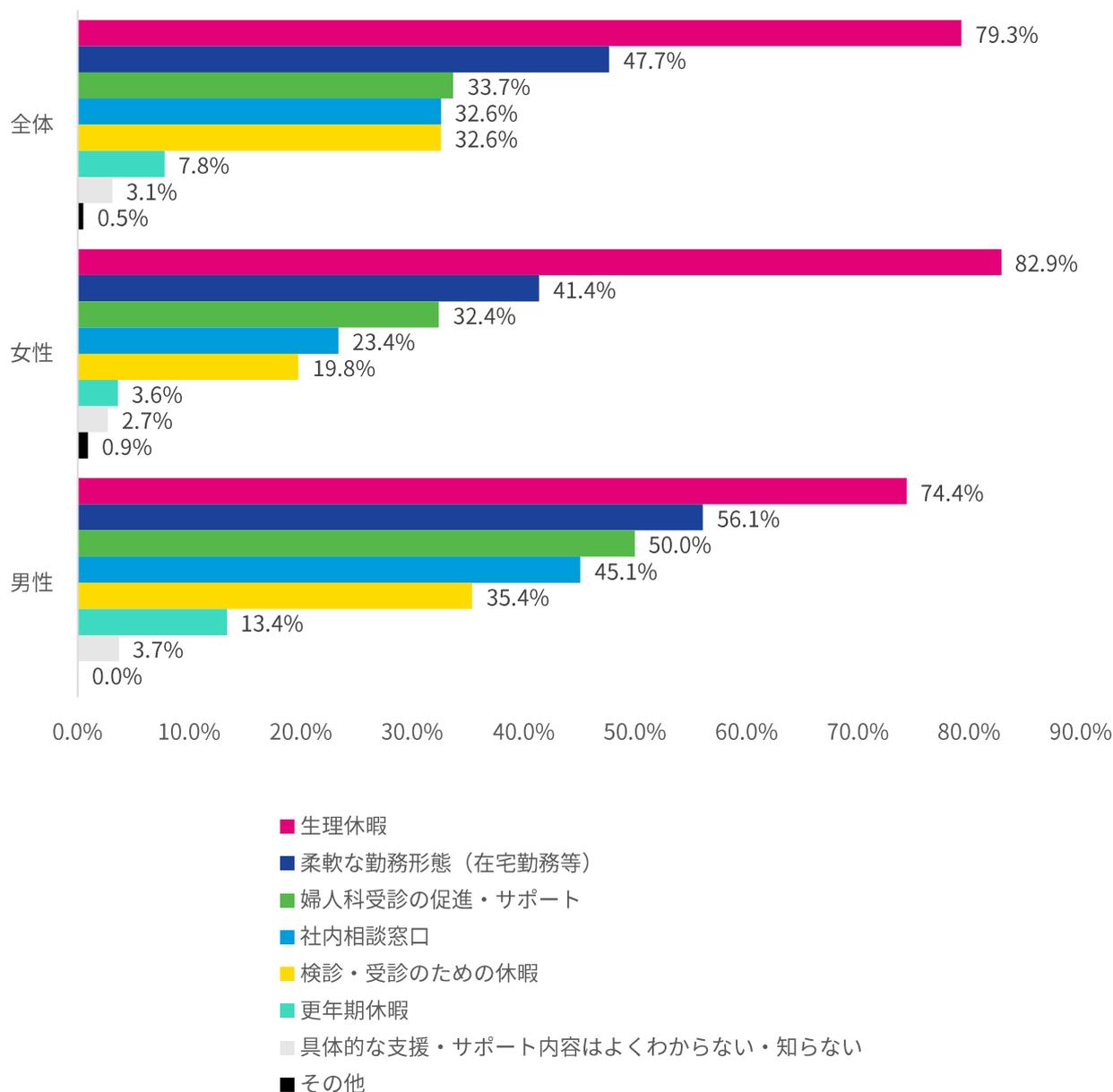


回答対象

- ・全体：調査に参加した男女 n=516
- ・女性：調査に参加した女性 n=258
- ・男性：調査に参加した男性 n=258

■ 女性特有の症状に対する支援・サポート体制の内容

[Q4]あなたの勤務先では、女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)に対して、どのような支援・サポート体制がありますか。以下の内、あてはまるものをすべてお知らせください。

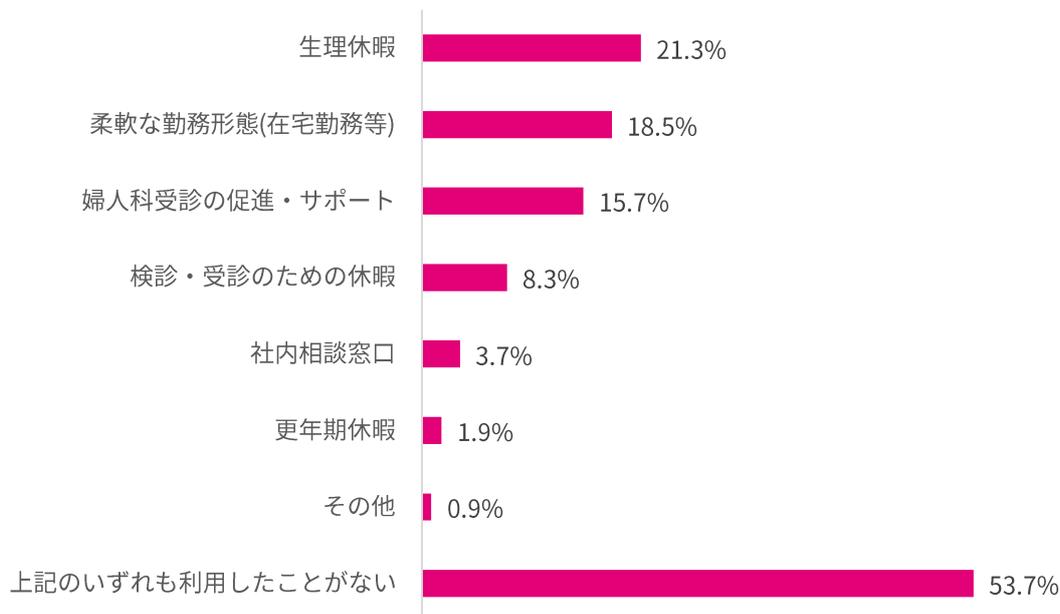


回答対象

- ・全体：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した男女 n=193
- ・女性：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した女性 n=111
- ・男性：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した男性 n=82

■ **女性特有の症状に対する支援・サポート体制の利用実績、今後の利用希望**

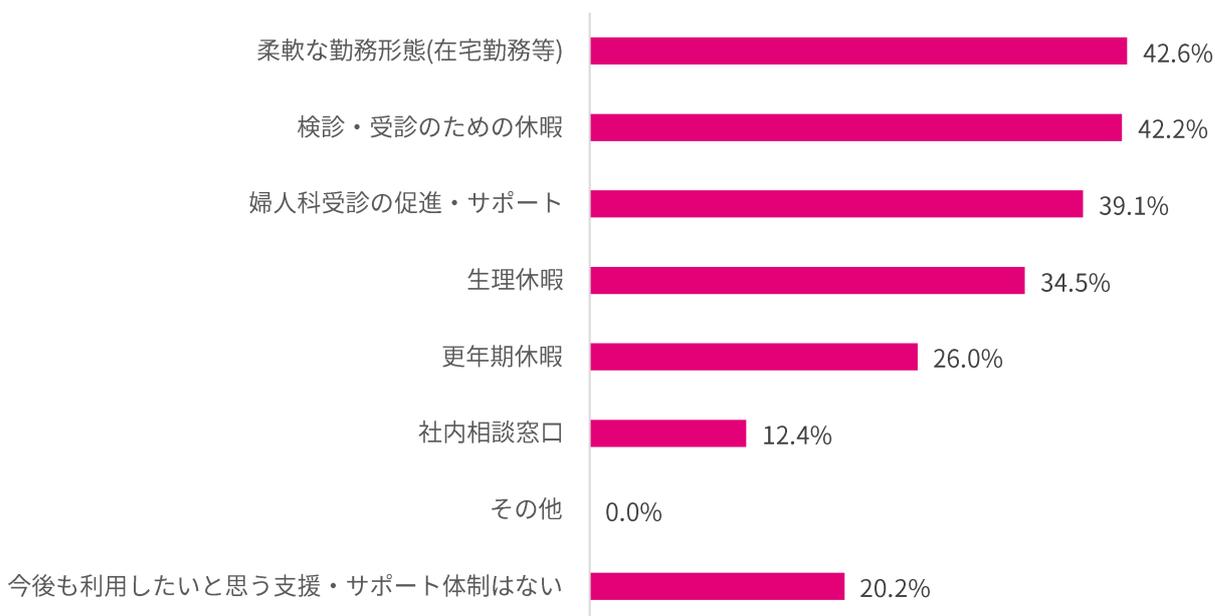
[Q5]あなたはこれまでに、現在の勤務先で、女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)に対する、支援・サポート体制を利用したことがありますか。(それぞれ複数回答可)



回答対象

・Q4で「8.具体的な支援・サポート内容はよくわからない・知らない」以外を選択した女性 n=108

[Q5]あなたはこれまでに、現在の勤務先で、女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)に対する、支援・サポート体制の中で、今後利用したいと思う支援・サポート体制を教えてください。(それぞれ複数回答可)

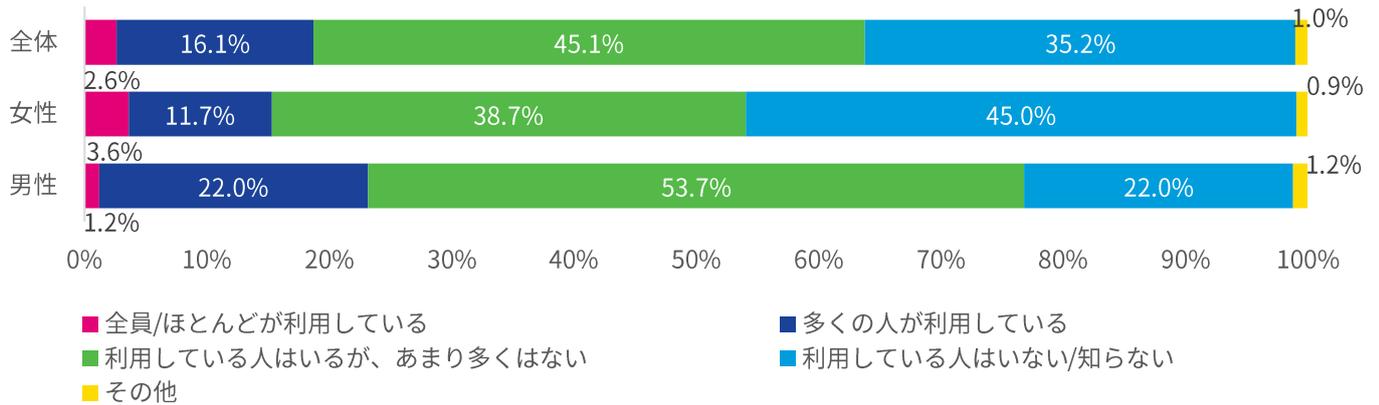


回答対象

・調査に参加した女性 n=258

■ 女性特有の症状に対する支援・サポート体制の周囲の利用状況

[Q6]現在の勤務先で、あなたの周りには、女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)に対する、支援・サポート体制を利用している人はいますか。

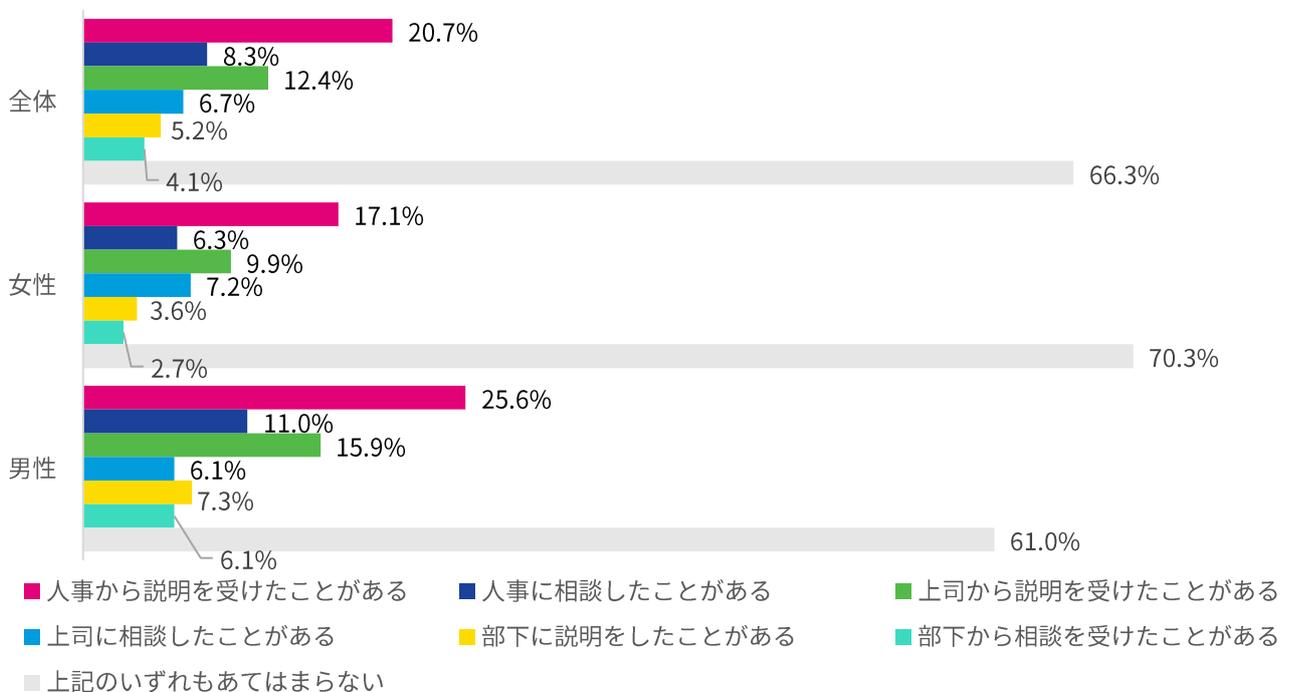


回答対象

- ・全体：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した男女 n=193
- ・女性：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した女性 n=111
- ・男性：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した男性 n=82

■ 女性特有の症状に対する支援・サポート体制に関しての社内におけるコミュニケーション状況

[Q7]現在の勤務先で、女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)に対する、支援・サポート体制について、相談を受けたことや、説明をしたことがありますか。
あなたの状況にあてはまるものをすべてお知らせください。

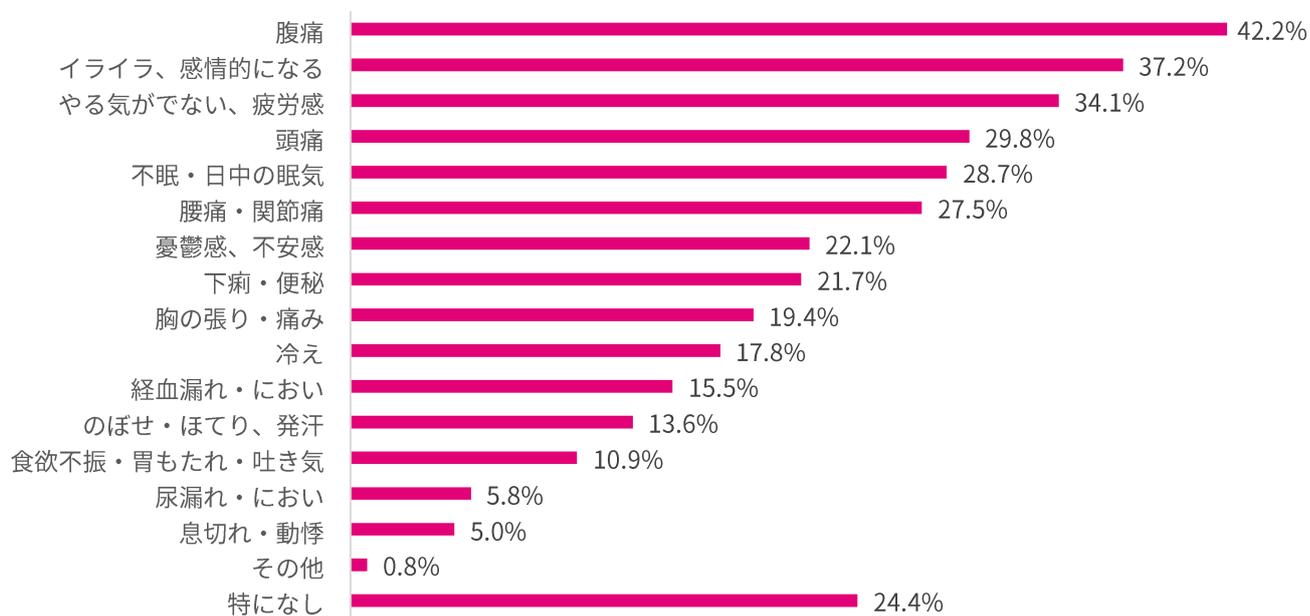


回答対象

- ・全体：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した男女) n=193
- ・女性：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した女性) n=111
- ・男性：Q3で「支援・サポート体制がある」と回答した男性) n=82

■ 女性特有の症状による困りごと・トラブル

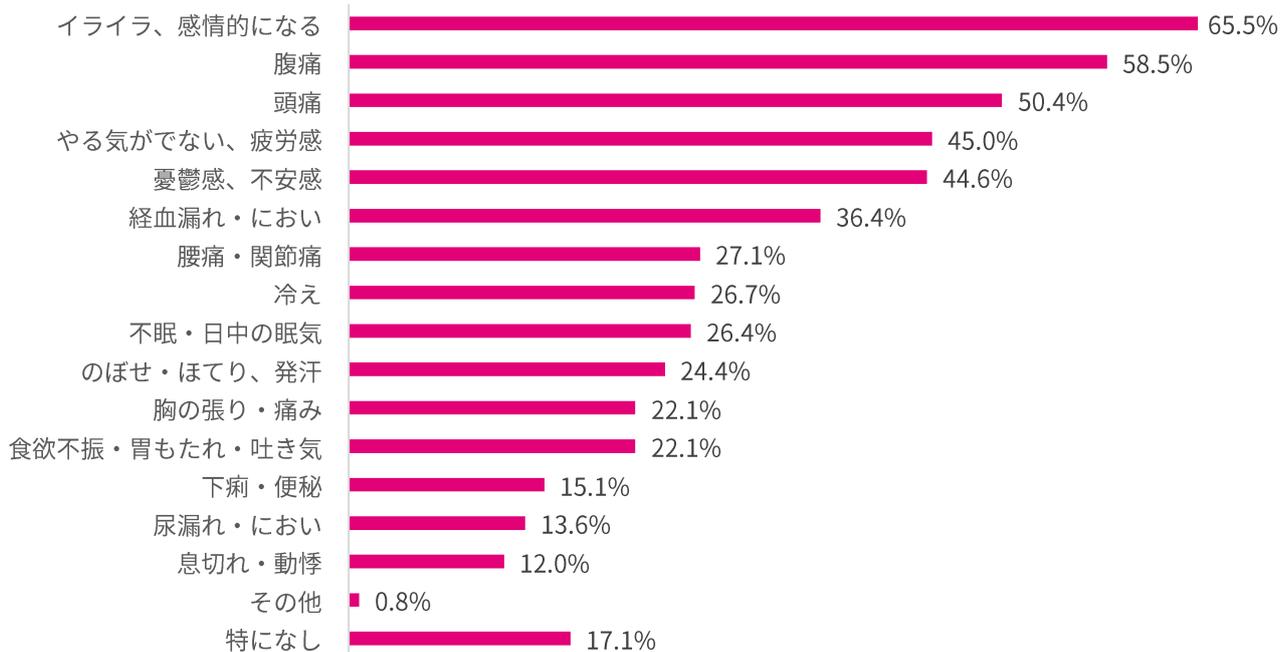
[Q8]女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)として、あなたはどのような困りごとやトラブルを抱えていますか。(複数回答可)



回答対象

- ・調査に参加した女性 n=258

[Q9]女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)として、女性はどのような困りごとやトラブルを抱えていると思いますか。(複数回答可)

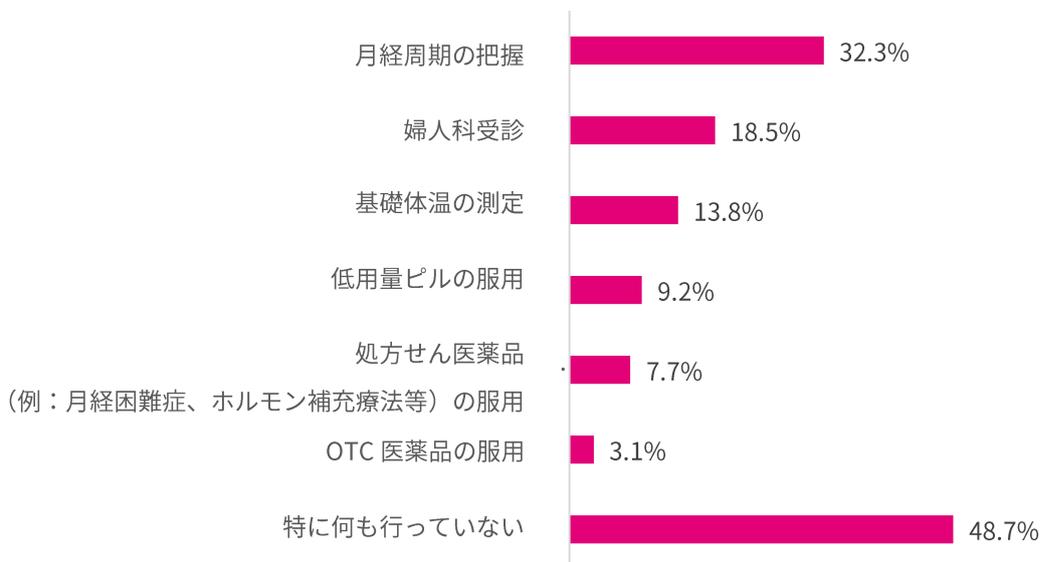


回答対象

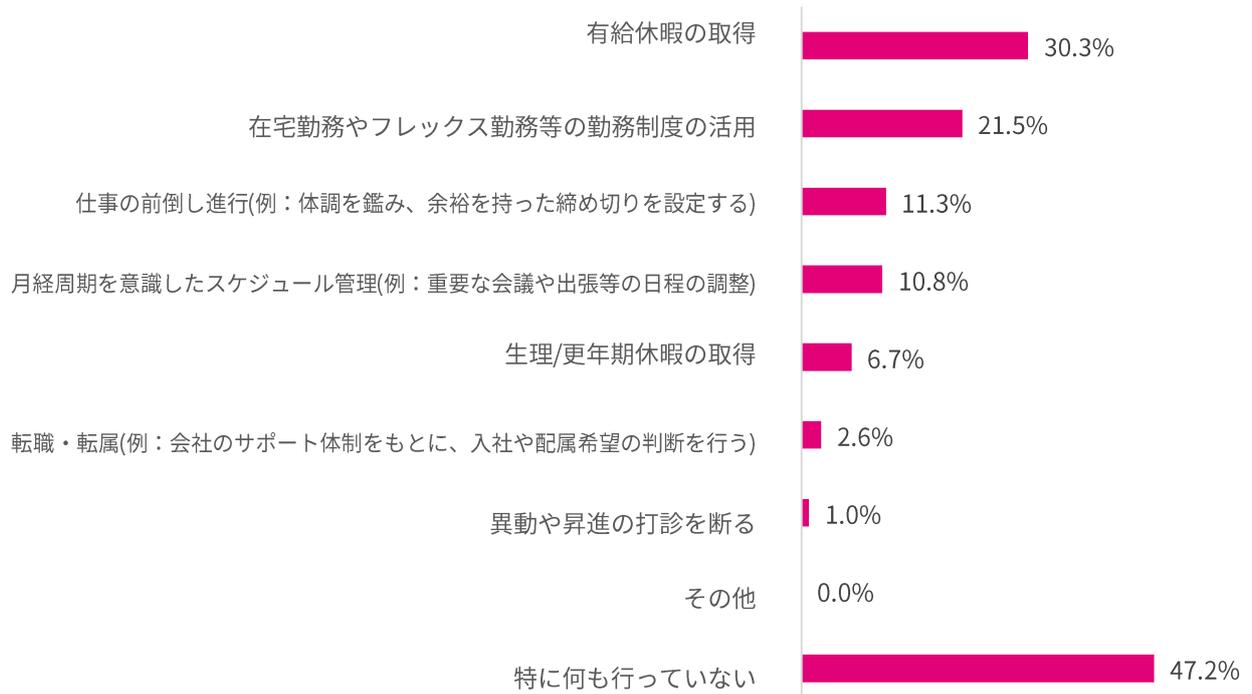
・調査に参加した男性 n=258

■ 女性が行っている健康管理・働き方の工夫

[Q10]前問で挙げたような困りごと・トラブルによる仕事への影響を軽減するために行っている、主な健康管理の工夫をお知らせください。(複数回答可)



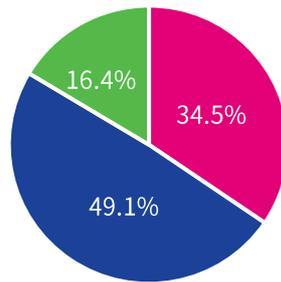
[Q11]前問で挙げたような困りごと・トラブルによる仕事への影響を軽減するために行っている、
主な働き方の工夫をお知らせください。(複数回答可)



回答対象

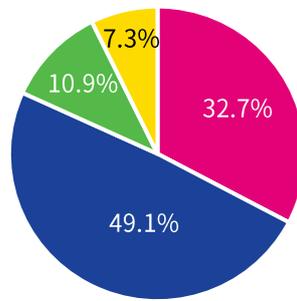
・Q10-11：Q8で「特になし」以外を選択した女性 n=195

[Q12]女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)による仕事への影響を軽減するために、ご自身で健康管理や働き方の工夫を行っていない理由として、最も近いものをお知らせください。



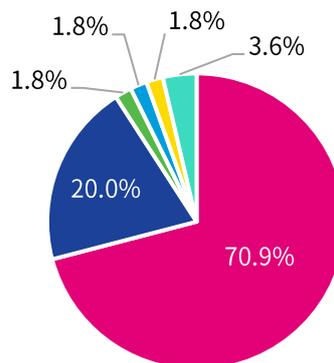
- 特にできることはないから/仕方がないから
- 特に仕事に影響するほどではないから
- 今までそのようなことを考えたことがなかったから
- その他

[Q13]女性特有の症状による困りごと・トラブルにより、仕事に支障があると感じますか。



- 支障がなく、通常通り仕事ができる
- 支障はあるが、仕事の質や進度に影響はない
- 支障があり、仕事の質や進度に影響が出ている
- 支障があり、仕事ができない
- 分からない・考えたことはない

[Q14]女性特有の症状による困りごと・トラブルは、月にどの程度出ていますか。



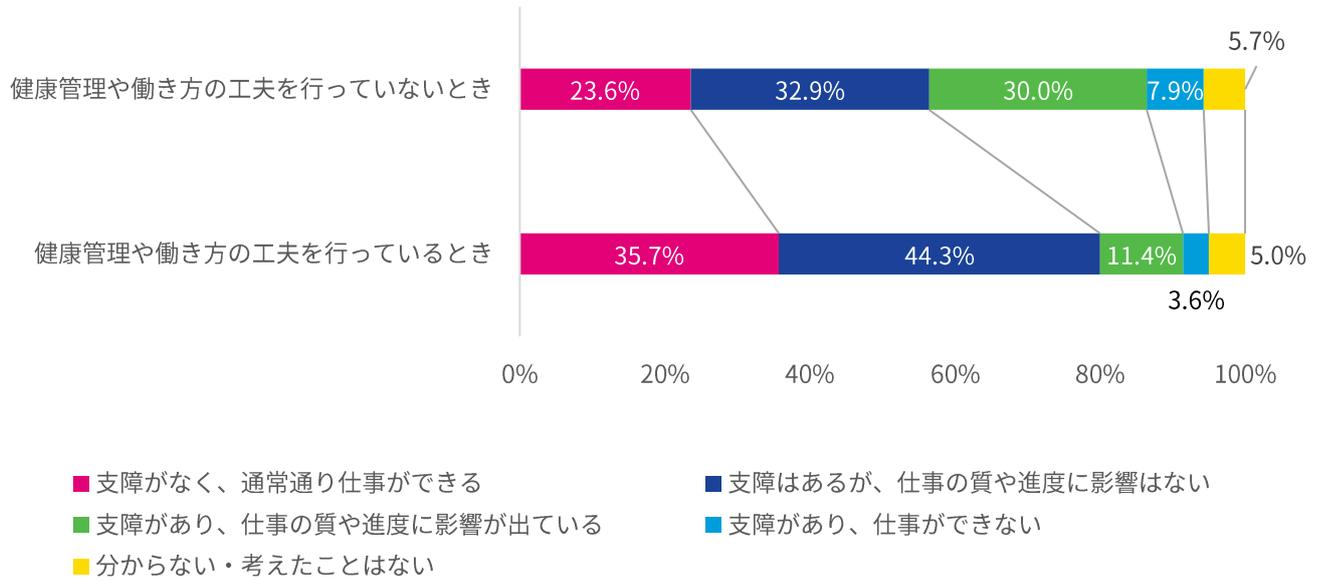
- ～2、3日/月
- 4～7日/月
- 8～10日/月
- 11～15日/月
- 16～20日/月
- 21～30日/月

回答対象

・Q12-14：Q10,11ともに「特に何も行っていない」と回答した女性 n=55

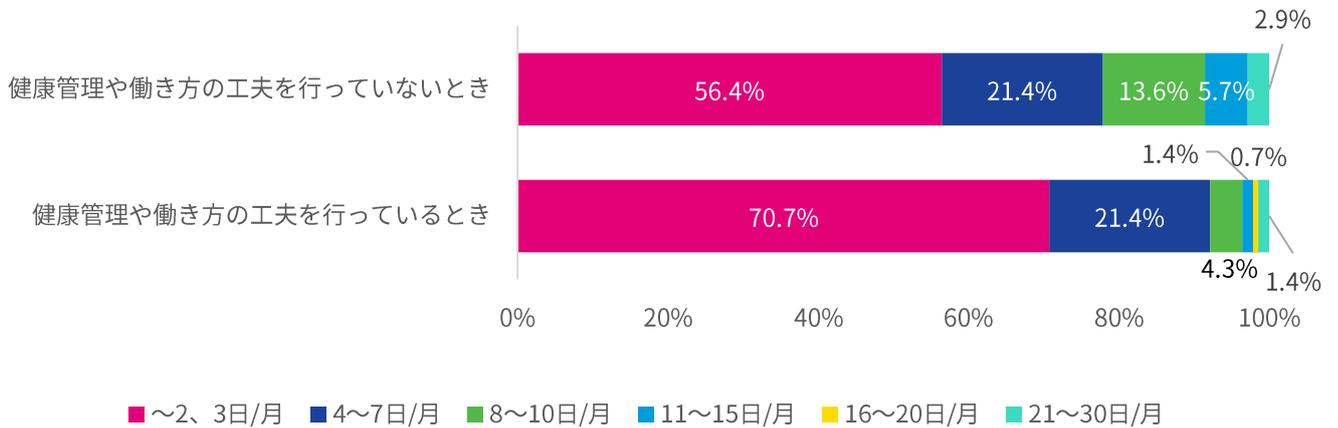
[Q15]女性特有の症状による困りごと・トラブルにより、仕事に支障があると感じますか。

前問でご回答いただいた健康管理や働き方の工夫を行っているとき、行っていないと想定したときの2パターンでお答えください。



[Q16]女性特有の症状による困りごと・トラブルは、月にどの程度出ていますか。

前問でご回答いただいた健康管理や働き方の工夫を行っているとき、行っていないと想定したときの2パターンでお答えください。



回答対象

・Q15-16：Q10,11で健康管理の工夫あるいは働き方の工夫、もしくは健康管理・働き方の工夫ともに行っていると回答した女性 n=140

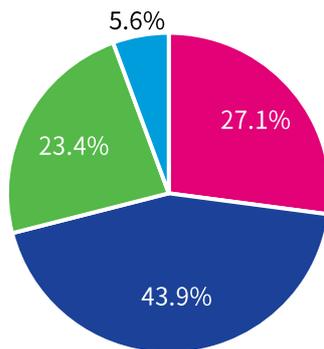
■ 女性による健康管理・働き方の工夫への男性から見たイメージ

[Q17]あなたは、女性特有の症状(月経困難症、PMS：月経前症候群、子宮内膜症、更年期症状等)による仕事への影響を軽減するために、例に挙げたような健康管理や働き方の工夫を行っている女性が何割くらいいると思いますか。

※例

【健康管理】基礎体温や月経周期の把握、婦人科受診、ピル・鎮痛剤等の服用等

【働き方】休暇の取得、月経周期を意識したスケジュール管理、在宅勤務等の勤務制度の活用
転職・転属、異動や昇進の打診を断る等



- 0～30%未満(健康管理や働き方の工夫を行っている女性はあまりいない)
- 30%以上～50%未満(健康管理や働き方の工夫を行っている女性はあるが、半数には満たない)
- 50%以上～80%未満(半数以上の女性が健康管理や働き方の工夫を行っていると思うが、全員ではない)
- 80%以上～100%(ほとんどの女性が健康管理や働き方の工夫を行っていると思う)

回答対象

Q9で「特になし」以外を選択した男性 n=214

以上